

令和4年度第1回 次世代道路網あり方委員会 議事要旨

1 日 時 令和4年5月27日（金）15：00～16：45

2 会 場 さいたま市役所 本庁舎2階 特別会議室

3 出席者 委員9名

（久保田尚、森本章倫、三浦詩乃、福島薫、本多建雄、柳瀬純、西岡康一、
藤巻雄幸、都築英幸）

※敬称略

4 欠席者 委員2名

（今佐和子、小島文郎）

5 議題

- 1) 次世代道路網あり方委員会の枠組み
- 2) 令和3年度第1回委員会の意見と対応
- 3) 道路網計画について

6 公開又は非公開の別 公開

7 傍聴者数 なし

8 議事要旨

(1) 開会

1) 公開又は非公開

事務局より、運営規定に原則公開することが定められていること、本日の審議内容に非公開に該当するような個人情報等を取り扱うようなものがないことから公開することを決定した。

(2) 委員紹介

(3) 議題

1) 次世代道路網あり方委員会の枠組み

事務局より資料 1「次世代道路網あり方委員会の枠組み」の説明を行った。

〈質疑等〉

特になし。

2) 令和 3 年度第 1 回委員会の意見と対応

事務局より資料 2「令和 3 年度第 1 回委員会の意見と対応」の説明を行った。

〈質疑等〉

特になし。

3) 道路網計画について

事務局より資料 3-1「道路網計画の枠組み」及び資料 3-2「市民参加の結果」、資料 3-3「将来道路網の検討」の説明を行った。

(1) 道路網計画の枠組み

久保田会長 幹線道路の取組として 4 つの類型に分けるとしているが、今回の分類作業にとどまらず、前回の見直しや次回の見直しも併せて時系列で考えるべきものとする。例えば前回新しく打ち出した予定路線については、今回見直す際に存続路線、廃止候補路線、予定路線の三つから選ぶことになる。時系列がわかるような図を作っておくと、次回以降の見直しがやりやすいのではないかな。

地区交通プラン検討エリアが具体化したら、幹線道路と一緒に考えるとのことだが、具体的にはどういうことか。あるエリアを歩行者エリアにすると締め出される車があると思うので、その需要も含めて需要推計を行ってネットワークを見直すのか。

事務局 そういったことも踏まえて検討していきたい。

森本委員 「過剰となっていた道路網を減らすことができる」という文言があるが、何を以て過剰と言っているのか。整備率が低いにも拘わらずそう表現するのはどういう意図か。

事務局 本市が目指す将来都市構造等において、そぐわない都市計画道路の廃止を行ってきており、そのことを表現している。

森本委員 道路網が適切なのか過剰なのかは精緻に検討して決めていくとされ

ているので、誤解を招かないようにして欲しい。

三浦委員 地区交通プラン検討エリアで検討する空間再配分などについては 20 年の計画期間では様々な変化への対応が難しいと思われる。

事務局 道路網計画は 5 年おきに見直ししており、地区交通プラン検討エリアは地区ごとのまちづくりを踏まえながら進めていくので、タイミングを見ながら計画に盛り込むことを考えている。

三浦委員 例えば、当初計画には記載されておらず、翌年度に地区で計画ができた場合には、4 年待たないといけないのか。

事務局 道路網計画ではエリアの指定を行う。地区交通プランについてはまちづくりのなかで検討・準備されているため、タイミングとしては十分に合うと思う。

(2) 市民参加の結果

森本委員 よく使う交通手段別に意見を整理されてはどうか。歩行者の回答が多いが、そういった人に聞くと移動の円滑性に関する意見は出てこないと思う。全体でまとめていると誰が言っている意見なのか見えにくくなると思う。例えば、ドライバーからも含め全体の意見として、安全性がトップになるのであれば、政策を大きく転換するエビデンスになるのではないか。

久保田会長 サンプル数が多くないのでできる範囲で検討してほしい。

三浦委員 WEB アンケートをとりいれており、若い方の意見が入っているので先進的な取り組みだと思う。検討の枠組みの中の市民参画の一つという理解でよいのか。

パブリックな場所で行ったのは良いが、一方で高齢者の意見が多く、10～20 代の意見を聞けるように大学で行うなど今後工夫されてはどうか。

渋滞に関しての意見があったが、渋滞の捉え方は主観的に分かれるところだと思う。実際にどういう場面で渋滞をどう感じているのかがわかると施策への示唆があると思う。

事務局 検討枠組みに記載した市民参画の一つとして実施した。計画づくりの中で市民参画は三本柱の一つとして捉えている。今後は計画案ができたパブリックコメントなどを行う予定である。

第 1 回実施時に場所によって年齢層に偏りがあったり、ショッピングセンターでは想定より意見が頂けなかった状況。それを踏まえて第 2 回は場所を検討したが、若い世代の意見が少なかったため次回は大学

なども検討したい。

また、今回提示した結果は、意見を分類しており中身が見えにくくなっているが、人によっては 30 分ぐらい会話をした人もおり、記録を掘り下げれば詳しいことがわかってくると思う。

(3) 将来道路網の検討

福島委員 移動時の安全性の向上はどういったデータで評価するのか。イタルダデータを使用すると説明があったが、ETC2.0 は活用する予定か。

事務局 県警から過去 5 年間分の事故データを頂いてメッシュデータにしている。ETC2.0 では細かい路線のデータ作成には費用がかかると聞いていた。

福島委員 ETC2.0 データには、加速度データで急ハンドル、急ブレーキなどの状況が生活道路でも把握できるので、活用を検討していただきたい。

森本委員 ネットワークパフォーマンスの評価は、ネットワーク全体について評価するのか、道路階層別にやるのか。幹線系は平均速度が上がるのは良いが、住宅地の階層の低い道路は速度が上がるのは好ましくない。一緒くたにするとそれぞれの道路の機能が正しく評価できないのではないか。

事務局 ネットワーク全体で考えていたが、階層別の評価も検討したい。

久保田会長 ネットワークパフォーマンスを評価する目的を確認したい。

事務局 将来の道路の円滑化を確認するためである。

久保田会長 都市計画道路を一本ずつ見て必要性を議論するのではないか。評価対象の路線一本ずつ評価が出ないといけないのではないか。

事務局 評価された路線でネットワークを組み、その後全体としてパフォーマンスを機能しているかを確認する。

久保田会長 個別の路線もあったうえで、全体の評価もするということか。

事務局 その通りである。

三浦委員 車線数、幅員のチェックとあるがそれらを計画内で決定するということか。

駅周辺は歩行者天国のようなことも考えられるが、そのような取り組みを行う際の担い手にも意見を伺っておいた方が良い。

また、ビッグデータの歩行者が多い路線の図は現在歩行者が多い路線ということだが、長期的な視点で例えば高齢者や子育て世代など住民の層別に見て対処すべきエリアはないか。エリアの特性を踏まえ、検討することは大切ではないか。

- 事務局 新たな交通・モビリティも考えられるので、幅員についてはそれらの動向を見ながら考える必要もあると考えている。
- エリアに関するご指摘については、地区交通検討エリアを初めて設定するので、まずは人の多いところを対象として考えている。
- 久保田会長 まちづくりに関わる人へのヒアリングをいうご指摘があったが、11月までに手引きを作るというスケジュールの中で、ウォークブルにして車を締め出すなどのケーススタディの検討はいつ頃予定しているか。その際の手引きはどのような位置づけのものなのか。
- 事務局 既に地区交通エリアを検討している大宮については引き検討を続き進めていただきたいが、それ以外に検討していないエリアが多い。浦和駅周辺のリデザインなどのビジョンの策定が検討されており、地区交通プランを市域全域に広げるための手引きの策定を検討している。
- 久保田会長 大宮などにヒアリングを行った結果を反映することはあり得るのか。
- 事務局 モデルケースとして成功している部分は取り入れ、反映していく方が理解しやすい部分もあると思う。
- 西岡委員 氷川参道の整備などで具体的に進めている部分はあるが、それを大宮駅周辺やまちづくりビジョンを作成中である浦和駅周辺などに反映させていければ良いと思う。
- 久保田会長 前向きにできる部分は進めてほしい。
- ネットワークの対象路線は 9.0m 以上が対象なるが、3.0m 歩道の有無で判断するということになるか。現実的に考えたときに両側に 1.5m ずつの歩道がある、片側 3.0m ガードレールが間欠的など、様々なものがあると思うが判断できそうか。
- 事務局 両側歩道のイメージとして、部分的に歩道がない道路もある。その部分を解消すれば対象になるので、そういった路線も含めて検討したい。
- 久保田会長 大宮 GCS プラン 2020 では、中山道の地下化と大栄橋の 4 車線化の計画路線があると思うが道路網計画ではどのようなになるか。
- 西岡委員 大宮 GCS プラン 2020 では委員長ご指摘の計画路線がある。計画路線については、プランにも時間はかかるが目指していくという位置づけになっていて、その部分の扱いは調整したい。
- 久保田会長 同じ市の公表する計画としては入れた方が良いと感じる。
- 核都市広域幹線道路については、これまでは首都高の東北道までの延伸ということであったと思うが、今回は核都市広域幹線道路自体を打ち出すという方向に変化してきたということでしょうか。
- 事務局 その通りである。

三浦委員 複数の指標で評価が割れる路線があるとどうする予定か。
事務局 一つの指標で評価されれば必要な路線と判断する。
久保田会長 200km の自転車ネットワークはいつの時点のものか。
事務局 自転車ネットワークの計画は来年度見直しの予定で、検討中であるので、現行の計画で評価を行う。
久保田会長 現行の計画は自歩道も入っている。200km のうち自転車通行帯などを整備したい路線だけ抽出するなどの処理が必要だろう。

以上